

2009 年度

松浦 自己記録で全国大会初制覇！

新潟国体（新潟：新潟市）

松浦貴之

3000mSC 8分35秒21（優勝）

# 松浦（大塚製薬）V

成年男子  
3000障害



## リズム崩さず 最後の一気

「最後の1周まで前には出ない。我慢だ」。成年男子3000m障害の松浦はレース中、何度も自分に言い聞かせた。トラックを周回することに1人、また1人と脱落。上位集団にとどまりながら決して先頭には立たなかった。9月下旬の全日本実業団対抗選手権で1000m障害から仕掛けながら終盤に失速し2位に甘んじた。6月の日本選手権も別の選手に敗れて2位に終わっており「3度も続けて負けるわけにはいかな

い。今度こそ優勝する」。1周ごとのタイムは意識せず、敵の動きに神経を集中させた。「自分のリズムを崩さない」。28個のハードルと七つの水壕（こう）もぐらつくことなく飛び越えた。優勝争いは3人に絞られる中、最終7周目に入るやいなや一気にスパート。後ろを振り向くと2人はついてきていない。最後まで余裕でリードを保ちゴールした。結果的に自己ベストを1秒47更新するおまけつき。思惑通りのレース運びに力強くガッツポーズした。兵庫県出身。大塚製薬陸上部に昨春入部してから頭角を現した。中央学院大時代に駅伝は経験していたが、同陸上部では誰も取り組んでいなかった3000m障害を専門に選んだ。「入部したころは力がなく、自分の存在を確立させたかった」。全国規模の大会でようやく初タイトルをつかんだ23歳。今や徳島陸上界に欠かせない逸材に成長した。（木村）

成年男子3000m障害で優勝した松浦—新潟市内の東北電力ビッグスワンススタジアム